

【NEWS RELEASE】

2020年4月30日

各位

株式会社三井住友銀行

みなと運送株式会社の「SDGs推進私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:高島 誠)は、みなと運送株式会社(代表取締役社長:山本 勇)の発行する「SDGs推進私募債」を買受けいたしました。

「SDGs推進私募債」は、私募債買受け時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:谷崎 勝教)が、企業のSDGs()に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ(ロジック)を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、みなと運送株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

ロジスティクス事業やエコ関連の新規事業を通じた資源有効利用、再生可能エネルギー普及への貢献

目標7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに	ターゲット 7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標12 つくる責任 つかう責任	ターゲット 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

運送サービスによる環境負荷低減や安全の確保への貢献

目標8 働きがいも 経済成長も	ターゲット 8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
目標9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	ターゲット 9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

三井住友銀行では、「SDGs推進私募債」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



みなと運送 本社



ペットボトルリサイクル工場



海上コンテナのラウンドコース

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。